

令和 7 年度事業計画及び収支予算について

令和7年度事業計画及び収支予算の設定について

I 事業運営基本方針

当種苗センターはその設立の趣旨である「農作物の優良種苗を一元的かつ安定的に生産供給するとともに、市場性を高めるために品質改善を推進することにより、岩手県内の農業経営の発展と岩手県民の食料の安定供給に寄与すること」の実現に向けて、主要作物部門、園芸作物部門、農産物検査部門及び管理運営部門の4部門について、近年の作付品種に係る需要トレンドや将来展望を踏まえた3カ年計画に基づきながら次のとおり事業を推進してまいります。

本事業の展開にあたっては、岩手県並びに各農業団体との濃密な連携や適切な役割分担を図るとともに、県内外の需要を的確に把握しつつ、「岩手県主要農作物等の種子等に関する条例」に基づき、生産技術や方式の改善に努め、計画的で効率的な生産、供給を行うものとします。

1 主要農作物種子の生産供給

県が定める岩手県主要作物等の種子等に関する条例及び関連要領に基づき、主要作物種子の計画的な生産と供給に取り組むとともに、関係機関・団体と連携し種子生産に関する研修会の開催や普及センターによる採種ほ場検査への立会を行い、優良種子の生産と種子事故の未然防止に努める。

公益目的事業として、精度の高い需要の積み上げに加えて状況に応じた的確な需要予測及び県や関係機関と協議し策定する主要農作物種子の生産計画に基づき採種ほ場を設置します。また、気象災害に備え、一定量の種子備蓄を行うとともに、不測の事態における種子の確保にあたっては、他県を含めた関係機関との緊密な関係構築のもとに迅速かつ必要な措置をとるものとする。

2 園芸作物種子・種苗の生産供給

収益事業に位置付けられる園芸作物部門については、収益性の向上を図る必要があることから、特に産地の動向をなお一層注視するとともに、産地への販売を強化し、需要に応じた生産供給に努めるものとする。

また、りんご苗木の生産体制を強化するため、台木生産の一部を外部委託とし、台木の生産確保に努める。種子系りんどうは、県育成新品種「いわて EB-5 号」の採種を開始するとともに、既存品種の需要量を満たす種子を確保する。イブキジャコウソウについては、農村環境保全活動事業の組織を中心に拡大普及・支援に努める。

3 適正な農産物検査の実施

水稻、麦類、豆類等の種子について、採種ほ場検査の立会や種子センターでの調製指導を行い、現物品の素性を十分把握した上で適正な検査を実施する。

4 適正な法人経営

法人経営の展開にあたっては、公益法人制度の改正に沿った中長期的な展望のもと、情勢の変化に対応した業務の効率化やコスト改善に努めるとともに、職員の意識改革や運営方法の見直しを積極的に進め、健全な経営に努めるものとする。

Ⅱ 事業計画

A 農産種子事業（公益目的事業）

1 農産種子対策

（１）計画的生産と供給対策

事前に申し込まれた需要数量と直近の配付実績を基本に、品種切り替え需要や、経営所得安定対策等の諸情勢を勘案し、採種は設置会議を開催し、関係機関・団体と協議の上、採種は場の品種配置や面積を確定し計画生産を行う。

① 水稻種子

令和８年播種用水稻種子生産計画は、採種は設置会議（令和７年１月３０日開催）にて、県の品種配置計画や直近の飼料用米から主食用への需要変動を加味し、飼料用米品種を大きく減らした生産計画としている。また、新品種「白銀のひかり」採種をスタートする。

【令和８年播種用水稻種子生産計画】

品 種 名	種子生産計画			採種は設置計画		
	生産計画A kg	前年計画B kg	前年比較A-B kg	計画面積 ha	前年増減 ha	前年比 %
サ サ ニ シ キ	16,800	16,800	0	4.0	0.0	100.0%
金 色 の 風	8,500	11,220	▲ 2,720	2.5	▲ 0.8	75.8%
ひ と め ぼ れ	894,600	897,540	▲ 2,940	213.0	▲ 0.7	99.7%
ど ん び し ゃ り	4,200	8,400	▲ 4,200	1.0	▲ 1.0	50.0%
銀 河 の し ず く	258,720	258,720	0	61.6	0.0	100.0%
あ き た こ ま ち	163,800	163,800	0	39.0	0.0	100.0%
い わ て っ こ	63,000	63,000	0	15.0	0.0	100.0%
白 銀 の ひ か り	17,220	※3,500	13,720	4.1	4.1	新規
き ら ほ	2,000	2,000	0	一般産準種子予定		
吟 ぎ ん が	5,040	5,040	0	1.2	0.0	100.0%
ぎ ん お と め	3,360	3,360	0	0.8	0.0	100.0%
結 の 香	1,140	1,140	0	0.3	0.0	100.0%
そ の 他 う る ち	4,340	7,000	▲ 2,660	コシヒカリ等、県外委託		
う る ち 計	1,442,720	1,441,520	1,200	342.5	1.6	100.5%
こ が ね も ち	9,000	9,000	0	福島県へ委託		
ヒ メ ノ モ チ	100,000	102,000	▲ 2,000	25.0	▲ 0.5	98.0%
も ち 美 人	2,800	2,800	0	0.7	0.0	100.0%
カ グ ヤ モ チ	100	1,000	▲ 900	長野県へ委託		
も ち 計	111,900	114,800	▲ 2,900	25.7	▲ 0.5	98.1%
た わ わ っ こ	65,000	88,400	▲ 23,400	12.5	▲ 4.5	73.5%
つ ぶ ゆ た か	57,200	75,400	▲ 18,200	11.0	▲ 3.5	75.9%
飼料用米 計	122,200	163,800	▲ 41,600	23.5	▲ 8.0	74.6%
合 計	1,676,820	1,720,120	▲ 43,300	391.7	▲ 6.9	98.3%

※種子生産計画の数量は農研センターからの供給によるもの

② 麦類種子

令和7年播種用の生産計画は、採種ほ設置会議において「ゆきちから」「銀河のちから」「ナンブキラリ」を増産し、生産計画数量307t（前年+22.9t）、採種面積116ha（前年+6.4ha）で策定している。

小麦種子生産は収穫期の天候に大きく左右されることから、前年同様、備蓄種子の確保供給を計画に組み入れることで、安定供給を行う。

【令和7年播種用麦類種子生産計画】

作目	品 種 名	種子生産計画			採種ほ設置計画		
		生産計画A kg	前年計画B kg	前年比較A-B kg	計画面積 a	前年増減 a	前年比 %
大麦	ファイバースノウ他	3,250	3,525	▲ 275	県外委託		—
小麦	ナンブコムギ	79,500	73,600	5,900	3,300	0	100.0%
	ゆきちから	175,500	162,000	13,500	6,500	500	108.3%
	銀河のちから	36,450	35,100	1,350	1,350	50	103.8%
	ナンブキラリ	12,150	9,720	2,430	450	90	125.0%
	小 計	303,600	280,420	23,180	11,600	640	105.8%
合 計		306,850	283,945	22,905	11,600	640	105.8%

③ 大小豆雑穀等種子

令和8年播種用（7年産）大豆種子は、採種ほ設置会議において、「リュウホウ」を減産し、生産計画数量141t（前年▲4t）、採種面積6,740a（前年▲200a）で策定している。

令和7年播種用（6年産）大豆種子需要は4月に再度取り纏めを実施し、備蓄種子の活用や転用種子を確保し種子安定供給を行う。

【令和8年播種用大小豆雑穀類種子生産計画】

作目	品種名	種子生産計画			採種ほ設置計画		
		生産計画A kg	前年計画B kg	前年比較A-B kg	計画面積 a	前年増減 a	前年比 %
大豆	ナンブシロメ	6,300	3,600	2,700	350	150	175%
	シュウリュウ	10,920	10,500	420	520	20	104%
	リュウホウ	122,850	130,200	▲ 7,350	5,850	▲ 350	94%
	ユキホマレ	540	720	▲ 180	0	▲ 40	0%
	リョウユウ	420		420	20	20	
	※その他	390	200	190	県外委託		
	大豆 計	141,420	145,220	▲ 3,800	6,740	▲ 200	97%
小豆		150	150	0	10	0	100%
そば・雑穀類		3,635	4,892	▲ 1,257	331	▲ 55	86%

※その他（秋田県 あきたみどり210kg 福島県 タチナガハ180kg）

【令和7年播種用大小豆雑穀類種子需給表】

（令和7年5月19日現在）

単位:数量 kg、%

項 目 品種名	生産計画 数 量	種子確保 数量(A)	当初申込 数 量	申込数量 (B)	残数量 (A)-(B)	R6年用 配付実績(C)	前年比 (B)/(C)
ナンブシロメ	3,600	3,030	3,360	2,790	240	5,880	47.4
シュウリュウ	10,500	11,640	7,890	11,490	150	11,460	100.3
リュウホウ	130,200	126,450	122,950	118,770	7,680	122,400	97.0
ユキホマレ	720	1,500	720	1,500	0	330	454.5
リョウユウ	0	240	0	60	180	0	—
その他	200	1,560	200	1,560	0	1,270	122.8
大豆 計	145,220	144,420	135,120	136,170	8,250	141,340	96.3
小豆類	150	149	73	46	103	149	30.9
そば・雑穀類	4,762	4,708	—	3,529	1,179	4,769	74.0

*その他（秋田県 あきたみどり210kg 福島県及び宮城県 タチナガハ840kg 福島県 里のほほえみ30kg
宮城県 ミヤギシロメ480kg）

(2) 種子事故の防止対策

県種子条例に基づき、関係機関・団体と連携し優良種子生産に取り組む。

- ・種子生産組織の採種は巡回や指導会へ積極的に参加し、混種・発芽不良等の事故防止対策の徹底を図る。(DNA 鑑定の実施、消毒済種子の発芽試験・温湯消毒発芽試験・低温浸種時の発芽試験等の実施)
- ・イネばか苗病対策については、継続して関係機関の指導と団体の協力を得て、採種ほ場周辺での発生防止や巡回によるチェックに取り組む。
- ・備蓄種子は当センターの「水稻種子備蓄の管理運営要領」、「麦類及び大豆種子備蓄の管理運営要領」を遵守し、定期的に品質確認（発芽調査等）を実施する。

(3) 種子生産組織の強化

令和 6 年度実施した『種子生産現場実態調査』により種子生産者の高齢化や老朽化した種子センターの再整備等の諸課題が浮き彫りになった。特に老朽化した種子センターでのトラブルは種子の確保供給が出来ない事態に直結することから、令和 7 年度は県や関係団体及び生産者とともに諸課題解決に向けた検討をスタートさせる。

- ・課題解決策の構築に向けて、県、関係団体及び種子生産者との連携を一層強化する。
- ・「種子生産対策助成要領」に基づく、岩手県種子生産部会協議会及び現地の種子生産組織の運営支援を継続する。

2 品質改善対策

(1) 産米品質改善対策

高品質・良食味の「いわて純情米」の安定供給を推進するため、「いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会」に参画して関係機関・団体と連携し、品種配置や栽培管理の情報提供など、次の諸対策を取り進める。

①食味の安定向上等に向けた目標

・ 1 等米比率	9 5 % 以上
・ 整粒歩合	8 0 % 以上
・ 種子更新率	1 0 0 %
・ 玄米タンパク質含有率	6 . 8 % 以下

②安全出穂期を考慮し、実需者に対応した適品種の作付推進

③適期刈取りと適正乾燥調製技術の徹底

④技術対策諸会議の開催

⑤技術資料等の作成、配布

(2) 麦類、大豆等品質改善対策

経営所得安定対策等の見直しによる国産麦・大豆の生産拡大への対応や実需者ニーズにあった商品性の高い麦・大豆生産に向け、下記の品質改善目標と種子更新目標の達成に取り組む。

①優良種子の生産、供給

②適期刈取りと適正乾燥調製技術の徹底

③品質改善目標

・ 適正水分	小麦	1 2 . 5 %	大豆	1 3 %
・ 整粒歩合	小麦	8 0 %	大豆	8 5 %
・ 1 等比率	小麦	8 0 %	大豆	5 0 %

④種子更新目標

・ 種子更新率	小麦	9 0 %以上	大豆	7 0 %以上
---------	----	---------	----	---------

3 種子需給調整対策

作柄変動や品種の需要動向により採種数量及び種子需要が変動する場合にあっても種子の安定供給が出来るように努める。この場合の県外産種子の確保経費、残量処理に要する経費、種子備蓄に要する経費等については極力抑制する。

(1) 種子確保対策

- ・円滑な種子需給を図るため、各関係機関・団体による採種ほ設置会議等を開催し採種計画を策定する。

(2) 残量処理対策

- ・水稻種子は予約精度の向上を図り、消毒済種子の残量発生を抑える。
- ・麦類及び大豆種子は備蓄種子の活用を計画し、残量発生を抑える。

(3) 種子備蓄対策

- ・水稻種子は県オリジナル品種を中心に令和6年産種子を100ト備蓄する。今後、定期的な現物確認・発芽試験等を実施し、緊急時の安定供給に備える。
- ・麦類及び大豆種子は定期的な現物確認・発芽試験を実施し、備蓄種子の品質確保に努める。

4 種子事故防止対策

(1) 採種ほ場病害対策

水稻採種ほ場のイネばか苗病対策として育苗期や本田期における採種ほ場周辺の巡回を実施し、事故対策資金より対策経費を補填するとともに、細菌病対策についても関係機関・団体と連携して万全を期し、種子品質の安定化を推進する。

(2) 異品種混入防止対策

育苗から収穫乾燥・調製まで様々な段階での巡回確認・指導を行いコンタミ防止に努めるとともに、種子に異品種の混入がないことを確認するためDNA鑑定を実施する。

新品種「白銀のひかり」の作付け拡大に向け、岩手町地区種子場でコンタミ防止ナラン栽培を5ha計画し次年度の採種ほ増設に向けた準備をする。

B 園芸種苗事業（収益事業１）

1 果樹苗木対策

供給計画については、需給ミスマッチを防ぐため令和7年産苗木の受注締切りを2月末日に設定し、りんご苗木の生産計画会議で各JAからの意見や需要動向を聞き取り、各産地の需要動向に基づき計画を作成した。

直営生産のりんご苗木は、主に地域オリジナルふじと晩生種を主体とした生産とし、その他の品種については、直営生産の他取次供給により対応する。

また一般果樹苗木については、ブドウ苗木の需要が減少してきていることから、需要動向を見据えた計画とした。

【供給計画及び前年実績】

（単位：本）

種類／品種	供給計画 (A)	前年計画 (B)	前年計画 対 比 (A) / (B)	前年供給 実績数量 (C)	供給計画 前年実績 対 比 (A) / (C)
直営生産供給					
紅いわた（岩手7号）	1,600	2,200	73%	1,188	135%
大 夢	100	200	50%	84	119%
雪 い わ て	60	100	60%	33	182%
は る か	2,200	2,100	105%	1,960	112%
地域オリジナルふじ	1,000	460	217%	445	225%
その他オリジナルふじ	4,600	4,800	96%	4,879	94%
りんご苗木 小計①	9,560	9,860	97%	8,589	111%
取次供給					
き お う	350	550	64%	243	144%
さ ん さ	100	100	100%	41	244%
つ が る	450	670	67%	431	104%
ジョナゴールド	1,500	1,820	82%	1,749	86%
ふ じ	1,500	1,000	150%	1,517	99%
シナノゴールド	2,000	2,200	91%	2,730	73%
そ の 他	6,100	2,800	218%	3,865	158%
りんご苗木 小計②	12,000	9,140	131%	10,576	113%
りんご苗木 合計③（①＋②）	21,560	19,000	113%	19,165	112%
りんご台木 ④	7,900	9,000	88%	8,710	91%
一般果樹苗木	2,600	3,900	67%	2,450	106%
景観形成緑化花木苗木	5	100	5%	20	25%
一般・景観花木苗木 小計⑤	2,605	4,000	65%	2,470	105%
苗木、台木 合計③＋④＋⑤	32,065	32,000	100%	30,345	106%

※取次供給は、外部委託生産分を含む。

2 花き種苗対策

種子系りんどうの供給計画は、JAに需要調査を実施し取りまとめを行い計画した。

また、県育成新品種の「いわてEB-5号」の採種を開始し種子確保に努めるとともに、晩生種「いわてLB-3号」の種子確保に努め、関係機関と連携しながら、高温対策や親株管理の徹底を図る。

栄養系りんどうについては、産地の需要動向の把握に努め、販売促進を行う。また産地と連携を図り、需要に対応した生産体制の充実を図る。

【供給計画】

(単位 種子系：mℓ、栄養系：本)

種類／品種（商標・系統）			供給計画 (A)	前年計画 (B)	前年計画 対 比 (A)/(B)	前年供給 実績数量 (C)	供給計画 前年実績 対 比 (A)/(C)	
	いわてVEB6号	(いわて夢あおい)	50	51	98%	65	77%	
	いわてVEB-7号	(いわて夢ぎんが)	14	7	200%	15	93%	
	マシリィ		4	10	40%	0	—	
	マジエル		9	35	26%	1	900%	
	いわてEB-1号	(恋りんどう)	41	80	51%	46	89%	
	いわてEB-2号	(いわて夏のあい)	63	62	102%	79	80%	
	いわてEB-3号	(恋りんどう)	47	51	92%	52	90%	
	いわてEB-4号		60	43	140%	141	43%	
	いわてEB-5号	(新規)	60	0	—	0	—	
	早生種		小 計①	348	339	103%	399	87%
	いわてMB-2号	(いわて晩夏のあい)	22	25	88%	31	71%	
中生種		小 計②	22	25	88%	31	71%	
	いわてLB-2号	(いわて夢みのり)	2	0	—	4	50%	
	いわてLB-3号	(いわて夢のぞみ)	90	64	141%	27	336%	
	いわてLB-4号		14	2	700%	32	44%	
	いわてLB-5号	(いわて中秋のあい)	65	63	103%	88	74%	
	いわてLB-6号		16	12	133%	17	94%	
晩生種		小 計③	187	141	133%	168	111%	
	いわてVLB-1号	(いわて夢みつき)	4	0	—	5	80%	
	アルタ		19	15	127%	17	112%	
極晩生種		小 計④	23	15	153%	22	105%	
	いわて乙女		130	180	72%	134	97%	
鉢物		小 計⑤	130	180	72%	134	97%	
種子系りんどう			合 計①+②+③+④+⑤	710	700	101%	753.8	94%
鉢物	ももずきんちゃん		2,500	2,400	104%	2,950	85%	
	BZC－1	(いわてあおりん)	500	250	200%	270	185%	
	Bzc-1_mut1	(いわて恋ももりん)	500	500	—	0	—	
	いわてDfGPP-1号	(いわて八重の輝きブルー)	800	650	123%	700	114%	
受託品種（取次供給含む）			62,900	53,400	118%	52,890	119%	
栄養系りんどう		合 計	67,200	57,200	117%	56,810	118%	

3 野菜種苗等対策

(1) 種子繁殖系野菜種苗

受注生産を基本とし、需要に応じた種苗供給を行う。

【供給計画】

種類／項目	単位	供給計画 (A)	前年計画 (B)	前年計画 対 比 (A) / (B)	前年供給 実績数量 (C)	供給計画 前年実績 対 比 (A) / (C)
カボチャ／南部一郎	株	200	200	100%	227	88%
なばな／はるの輝	mℓ	1,000	1,000	100%	930	108%

(2) グランドカバープランツ

イブキジャコウソウ種苗は、需要動向を注視し優良種苗の生産供給を行う。

【供給計画】

種類／項目	単位	供給計画 (A)	前年計画 (B)	前年計画 対 比 (A) / (B)	前年供給 実績数量 (C)	供給計画 前年実績 対 比 (A) / (C)
イブキジャコウソウ	本	7,000	8,000	88%	7,165	98%
参考) 想定面積	m ²	1,120	1,280	—	1,146	98%

(3) 薬用作物

生薬会社との契約に基づき計画生産を行う。

【供給計画】

種類／項目	単位	供給計画 (A)	前年計画 (B)	前年計画 対 比 (A) / (B)	前年供給 実績数量 (C)	供給計画 前年実績 対 比 (A) / (C)
薬用作物	本	2,000	3,000	67%	3,300	61%

C 農産物検査事業 （収益事業2）

立毛中から採種ほ場の生育状況を確認し、産地別、品種別にきめ細かに調製作業の指導を行うとともに、適正検査を実施する。

【種子検査計画数量】

（単位：数量 t）

品 目	検査計画数量	検 査 場 所
水 稻	1,661	JA 新いわて岩手町種子センター 他 6 ヶ所
麦 類	289	株式会社グレンシーズ花巻 他 2 ヶ所
豆 類	140	JA 新いわて軽米ライスセンター 他 1 ヶ所

D 管理運営

(1) 健全経営

担い手の高齢化など農業を取り巻く環境などや農業生産現場の厳しい状況が続く中、今後の種子種苗の需要動向を見極める事業運営を図るとともに、新たに、令和6年度に策定した事業運営3カ年計画（令和6年～令和8年）を基本とし健全経営に努める。

さらに、農業を取り巻く情勢に柔軟に対応など、業務の効率化やコスト改善に取り組むとともに、職員の意識改革や作業員の就業意欲の向上を図り健全経営に努める。

また、長期預り金の5億円は、安全性を最優先に長期国債で引き続き運用を図って行く。

(2) 適正な管理運営

令和7年4月1日から公益法人制度が改正されました。この改正は、「収支相償」から「中期的な収支均衡」への変更や、将来の公益目的事業の為に「公益充実資金」の創設など財務規律の柔軟化が図られ、法人の経営判断で社会的課題への機動的な取り組みを可能としています。また、行政手続きの簡素化・合理化や自立的ガバナンスの充実や透明性向上のため、外部理事・外部監事の導入など変更されました。

こうした動きに対して、事務監査の主管課である県庁総務部行政経営推進課の指導の基、各種手続きを適正に行うとともに、事業運営などをホームページなどで適切かつ公正に情報を開示する。

適格請求書発行事業者として、適正な事務処理に取り組む。

(3) 人材育成等

リスク管理規程及び対策マニュアルに基づき、引き続き健康管理講座や職場ハラスメント防止対策に係る研修会等の開催により、安全な職場環境の維持に努める。

職員の能力開発及び情報処理に関するセミナーの受講、種子種苗の安定生産に関する技術研修への参加や、関係機関・団体が開催する研修会等へ計画的に参加し事業環境の変化に柔軟に対応できる人材を育成する。

また、人事評価制度を活用しながら、職員の就業意欲と能力向上を促進する。

Ⅲ 令和7年度収支予算

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	令和7年度予算(A)	令和6年度予算(B)	増減(A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①特定資産運用益 (計)	1 2,800,000	2,800,000	0
長期預り金資産受取利息	2 2,800,000	2,800,000	0
②受取会費 (計)	3 390,000	390,000	0
准会員分担金	4 390,000	390,000	0
③事業収益 (計)	5 1,205,637,000	1,051,074,000	154,563,000
農産種子事業収益	6 1,122,300,000	967,190,000	155,110,000
園芸種苗事業収益	7 81,111,000	81,660,000	△ 549,000
農産物検査事業収益	8 2,226,000	2,224,000	2,000
④受取負担金 (計)	9 66,301,000	48,958,000	17,343,000
品質改善推進負担金	10 2,600,000	2,620,000	△ 20,000
種子需給調整負担金振替額	11 55,095,000	36,078,000	19,017,000
種子事故対策負担金振替額	12 8,606,000	10,260,000	△ 1,654,000
⑤受取補助金 (計)	13 465,000	475,000	△ 10,000
受取補助金	14 465,000	475,000	△ 10,000
⑥雑収益 (計)	15 60,000	58,000	2,000
雑収益	16 60,000	58,000	2,000
経常収益 合計	17 1,275,653,000	1,103,755,000	171,898,000
(2) 経常費用			
①事業費 (計)	18 1,267,561,000	1,097,661,000	169,900,000
役員報酬	19 4,154,000	4,154,000	0
職員給与	20 51,550,000	55,890,000	△ 4,340,000
労務費	21 9,800,000	11,700,000	△ 1,900,000
福利厚生費	22 10,100,000	12,205,000	△ 2,105,000
退職給付費用	23 6,396,000	5,696,000	700,000
会議費	24 730,000	410,000	320,000
旅費交通費	25 2,560,000	2,510,000	50,000
通信費	26 505,000	499,000	6,000
光熱水料費	27 3,139,000	3,389,000	△ 250,000
印刷製本費	28 1,269,000	3,419,000	△ 2,150,000
賃借料	29 1,725,000	1,038,000	687,000
保守点検料	30 1,451,000	1,233,000	218,000
保険料	31 709,000	803,000	△ 94,000
租税公課	32 9,813,000	9,736,000	77,000
諸謝金	33 100,000	100,000	0
諸会費負担金	34 2,000,000	0	2,000,000
食糧費	35 130,000	130,000	0
資材費	36 4,820,000	4,530,000	290,000
車両費	37 1,914,000	1,473,000	441,000
燃料費	38 1,270,000	1,678,000	△ 408,000
広報指導費	39 103,000	103,000	0
研修負担金	40 540,000	640,000	△ 100,000
種子種苗仕入費	41 50,152,000	52,635,000	△ 2,483,000
登録品種許諾料	42 2,320,000	2,272,000	48,000
種子種苗運搬費	43 25,647,000	27,069,000	△ 1,422,000
種子生産助成費	44 2,780,000	2,600,000	180,000
種子生産委託料	45 1,010,490,000	848,800,000	161,690,000
備蓄種子保管料	46 3,690,000	3,690,000	0
残量種子差額補填費	47 47,024,000	26,143,000	20,881,000
種子事故防止損失補填費	48 8,600,000	10,254,000	△ 1,654,000
修繕費	49 1,000,000	1,000,000	0
圃場借上料	50 450,000	804,000	△ 354,000
土地改良区費	51 330,000	350,000	△ 20,000
圃場整備費	52 0	340,000	△ 340,000
減価償却費	53 300,000	368,000	△ 68,000
施設修繕費	54 0	0	0

(単位：円)

科 目		令和7年度予算(A)	令和6年度予算(B)	増減(A-B)
②管理費 (計)	55	5,668,000	5,776,000	△ 108,001
役員報酬	56	1,072,000	1,072,000	0
職員給与	57	1,450,000	1,610,000	△ 160,000
福利厚生費	58	400,000	296,000	104,000
退職給付費用	59	184,000	164,000	20,000
会議費	60	75,000	75,000	0
旅費交通費	61	160,000	160,000	0
交際費	62	100,000	100,000	0
通信費	63	130,000	130,000	0
光熱水料費	64	40,000	40,000	0
消耗什器備品費	65	80,000	80,000	0
消耗品費	66	120,000	120,000	0
印刷製本費	67	440,000	440,000	0
賃借料	68	189,000	175,000	14,000
減価償却費	69	0	0	0
保守点検料	70	142,000	326,000	△ 184,001
保険料	71	14,000	14,000	0
会費負担金	72	664,000	572,000	92,000
図書研修費	73	60,000	60,000	0
租税公課	74	20,000	20,000	0
諸謝金	75	145,000	145,000	0
食糧費	76	20,000	20,000	0
施設修繕費	77	0	0	0
雑費	78	163,000	157,000	6,000
経常費用 合計	79	1,273,229,000	1,103,437,000	169,792,000
当期経常増減額	80	2,424,000	318,000	2,106,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益 合計	81	0	0	0
(2) 経常外費用				
①貸倒引当金繰入 (計)	82	0	0	0
貸倒引当金繰入	83	0	0	0
②貸倒損失 (計)	84	0	0	0
貸倒損失	85	0	0	0
経常外費用 合計	86	0	0	0
当期経常外増減額	87	0	0	0
他会計振替前一般正味財産増減額	88	2,424,000	318,000	2,106,000
他会計振替額	89	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	90	2,424,000	318,000	2,106,000
法人税、住民税及び事業税	91	82,000	82,000	0
当期一般正味財産増減額	92	2,342,000	236,000	2,106,000
一般正味財産期首残高	93	103,019,944	107,476,879	△ 4,456,935
一般正味財産期末残高	94	105,361,944	107,712,879	△ 2,350,935
II 指定正味財産増減の部				
指定正味財産 (計)	95	34,720,000	46,338,000	△ 11,618,000
種子需給調整対策負担金	96	24,460,000	36,078,000	△ 11,618,000
種子事故対策負担金	97	10,260,000	10,260,000	0
一般正味財産への振替額 (計)	98	△ 63,701,000	△ 46,338,000	△ 17,363,000
種子需給調整対策資金への振替額	99	△ 55,095,000	△ 36,078,000	△ 19,017,000
種子事故対策資金への振替額	100	△ 8,606,000	△ 10,260,000	1,654,000
当期指定正味財産増減額	101	△ 28,981,000	0	△ 28,981,000
指定正味財産期首残高	102	179,920,891	167,891,335	12,029,556
指定正味財産期末残高	103	150,939,891	167,891,335	△ 16,951,444
III 正味財産期末残高	104	256,301,835	275,604,214	△ 19,302,379

(注) 借入金限度額 100,000,000円

収 支 予 算 書 内 訳 表

(単位:円)

科 目		公益目的事業会計	収益事業等会計		法人会計	合 計
		公1	収1	収2		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 特定資産運用益(計)	1				2,800,000	2,800,000
長期預り金資産受取利息	2				2,800,000	2,800,000
② 受取会費(計)	3				390,000	390,000
准会員分担金	4				390,000	390,000
③ 事業収益(計)	5	1,122,300,000	81,111,000	2,226,000	0	1,205,637,000
農産種子事業収益	6	1,122,300,000				1,122,300,000
園芸種苗事業収益	7		81,111,000			81,111,000
農産物検査事業収益	8			2,226,000		2,226,000
④ 受取負担金(計)	9	66,301,000				66,301,000
品質改善推進負担金	10	2,600,000				2,600,000
種子需給調整負担金振替額	11	55,095,000				55,095,000
種子事故対策負担金振替額	12	8,606,000				8,606,000
⑤ 受取補助金(計)	13	465,000	0	0	0	465,000
受取補助金	14	465,000	0	0	0	465,000
⑥ 雑収益(計)	15	0	0	0	60,000	60,000
雑収益	16	0	0	0	60,000	60,000
経常収益 合計	17	1,189,066,000	81,111,000	2,226,000	3,250,000	1,275,653,000
(2) 経常費用						
① 事業費(計)	18	1,188,863,000	76,975,000	1,723,000		1,267,561,000
役員報酬	19	3,881,000	273,000	0		4,154,000
職員給与	20	27,950,000	23,600,000	0		51,550,000
労務費	21	1,050,000	7,700,000	1,050,000		9,800,000
福利厚生費	22	5,700,000	4,400,000	0		10,100,000
退職給付費用	23	3,948,000	2,448,000	0		6,396,000
会議費	24	720,000	10,000	0		730,000
旅費交通費	25	1,260,000	1,050,000	250,000		2,560,000
通信費	26	411,000	90,000	4,000		505,000
光熱水料費	27	639,000	2,500,000	0		3,139,000
印刷製本費	28	1,206,000	63,000	0		1,269,000
賃借料	29	1,335,000	280,000	110,000		1,725,000
保守点検料	30	1,162,000	280,000	9,000		1,451,000
保険料	31	569,000	140,000	0		709,000
租税公課	32	5,162,000	4,471,000	180,000		9,813,000
諸謝金	33	100,000	0	0		100,000
諸会費負担金	34	2,000,000	0	0		2,000,000
食糧費	35	80,000	50,000	0		130,000
資材費	36	1,100,000	3,600,000	120,000		4,820,000
車輛費	37	1,014,000	900,000	0		1,914,000
燃料費	38	420,000	850,000	0		1,270,000
広報指導費	39	53,000	50,000	0		103,000
研修負担金	40	390,000	150,000	0		540,000
種子種苗仕入費	41	30,032,000	20,120,000	0		50,152,000
登録品種許諾料	42	1,000,000	1,320,000	0		2,320,000
種子種苗運搬費	43	25,097,000	550,000	0		25,647,000
種子生産助成費	44	2,780,000	0	0		2,780,000
種子生産委託料	45	1,010,490,000	0	0		1,010,490,000
備蓄種子保管料	46	3,690,000	0	0		3,690,000
残量種子差額補填費	47	47,024,000	0	0		47,024,000
種子事故防止損失補填費	48	8,600,000	0	0		8,600,000
修繕費	49	0	1,000,000	0		1,000,000
圃場借上料	50	0	450,000	0		450,000
土地改良区費	51	0	330,000	0		330,000
圃場整備費	52	0	0	0		0
減価償却費	53	0	300,000	0		300,000
施設修繕費	54	0	0	0		0

(単位:円)

科 目		公益目的事業会計	収益事業等会計		法人会計	合 計
		公1	収1	収2		
②管理費(計)	55				5,668,000	5,668,000
役員報酬	56				1,072,000	1,072,000
職員給与	57				1,450,000	1,450,000
福利厚生費	58				400,000	400,000
退職給付費用	59				184,000	184,000
会議費	60				75,000	75,000
旅費交通費	61				160,000	160,000
交際費	62				100,000	100,000
通信費	63				130,000	130,000
光熱水料費	64				40,000	40,000
消耗什器備品費	65				80,000	80,000
消耗品費	66				120,000	120,000
印刷製本費	67				440,000	440,000
賃借料	68				189,000	189,000
減価償却費	69				0	0
保守点検料	70				142,000	142,000
保険料	71				14,000	14,000
会費負担金	72				664,000	664,000
図書研修費	73				60,000	60,000
租税公課	74				20,000	20,000
諸謝金	75				145,000	145,000
食糧費	76				20,000	20,000
施設修繕費	77				0	0
雑費	78				163,000	163,000
経常費用 合計	79	1,188,863,000	76,975,000	1,723,000	5,668,000	1,273,229,000
当期経常増減額	80	203,000	4,136,000	503,000	△ 2,418,000	2,424,000
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益 合計	81	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
①貸倒引当金繰入(計)	82	0	0	0	0	0
施設修繕費	83	0	0	0	0	0
②貸倒損失(計)	84	0	0	0	0	0
固定資産除却損	85	0	0	0	0	0
経常外費用 合計	86	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	87	0	0	0	0	0
他会計振替前一般正味財産増減額	88	203,000	4,136,000	503,000	△ 2,418,000	2,424,000
他会計振替額	89	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	90	203,000	4,136,000	503,000	△ 2,418,000	2,424,000
法人税、住民税及び事業税	91	0	82,000	0	0	82,000
当期一般正味財産増減額	92	203,000	4,054,000	503,000	△ 2,418,000	2,342,000
一般正味財産期首残高	93	33,466,342	35,493,763	6,044,551	28,015,288	103,019,944
一般正味財産期末残高	94	33,669,342	39,547,763	6,547,551	25,597,288	105,361,944
Ⅱ 指定正味財産増減の部						0
指定正味財産(計)	95	34,720,000				34,720,000
種子需給調整対策負担金	96	24,460,000				24,460,000
種子事故対策負担金	97	10,260,000				10,260,000
一般正味財産への振替額(計)	98	△ 63,701,000				△ 63,701,000
種子需給調整対策資金への振替額	99	△ 55,095,000				△ 55,095,000
種子事故対策資金への振替額	100	△ 8,606,000				△ 8,606,000
当期指定正味財産増減額	101	△ 28,981,000	0	0	0	△ 28,981,000
指定正味財産期首残高	102	179,920,891	0	0	0	179,920,891
指定正味財産期末残高	103	150,939,891	0	0	0	150,939,891
Ⅲ 正味財産期末残高	104	184,609,233	39,547,763	6,547,551	25,597,288	256,301,835

事業区分における「公1」は、主要農作物等種子事業である。

「収1」は、園芸種苗事業である。

「収2」は、農作物検査事業である。

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借入の予定		なし	
事業番号	借 入 先	金 額	使 途
		0 円	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		なし	
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の使途
		0 円	